



Minami-hatoba_1(Shirouyasu_Suzuki)

2006-07-31

高校野球の西東京決勝戦「日大三対早実」のテレビ中継を見る。

30日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、脳の働きが自制的であること（短期記憶と長期記憶の入れ替え）、社会的であること（読み書きを習得する）、大脳半球が別々に働くという特徴があること（左脳は時間的、右脳は空間的）などが書かれていた。庭に出て植物を撮影して、枯れてしまった幹が折れた草を撮り、水を撒く。仕事場に下りて、

[枯れた草の幹と出てきた芽](#)をBlosxomblogに入れる。そうめんを茹でて水に浮かせて昼食。それから、寝室のベッドで横になってうとうとして見ていた高校野球の西東京決勝戦「日大三対早実」の粘りの早実の試合展開が面白くなって、早実がさよなら勝ちするまで見てしまった。野球をやきもきしながら見るのは久しぶりのことだった。それから、米をといで炊飯器のスイッチを入れて、左手の親指の傷につけるバンドエイドを買いに行き、パルケに行ってトウモロコシと枝豆とソルダムとカボチャなどを買ってくる。トウモロコシを茹でる。仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」の昨年の八月の日記を見る。7時過ぎて、昨日のカレーの残りですらダを作って独りで夕食。食後、寝室に行き「功名が辻」を見て、その後のアメリカ在住のイラク人と、イラク駐在のアメリカ軍を支持する軍人協会のアメリカ人と、カナダで国籍を取ろうとしている脱走兵のアメリカ人の行動を追った「Nスペ」も見る。国家を優先するのか個人を優先するのかというテーマになっている。仕事場に下りて、また去年の八月の日記を辿る。昨年は合宿とか卒制の面接とかカリキュラム作成会議とか進学相談会とか、多摩美という大学組織が組み立てていた時間の流れに乗っていたが、この四月からは自分が時間の流れを組み立てていることを再認識する。やや背景に押しやられていた自分の意識が持つ時間の流れが前面に出て主流になっていく感じがする。今年の八月は、1日から10日まで連日芝居やダンスを見に行くことになっている。などなど考えていると、麻理が帰ってきた。居間に行き、草多が見ているテレビを見ながら、林檎1個、トウモロコシ半分、ウエハース2枚、黒糖プレッツェル3本、一口羊羹1個、欠け煎餅3個、牛乳。また、仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書く。

00:17:51 - shirouyasu - No comments

2006-07-30

「映像アートサロン・煌翔」に行く。

29日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、脳は自己報酬的ということが書いてあった。ニューロンは自分が自分に快いホルモンを与えるということだ。ストレッチ体操はしないで、仕事場の一部を片づける。汗をかいてシャワー。冷や麦を茹でて昼食。ベッドで高校野球の神奈川県決勝戦を見ながらうとうとする。3時前にパルケに行ってカレーの食材とレタス、トマト、トウモロコシ、枝豆を買ってきて、カレーを作る。トウモロコシを茹でる。それを夕刊を見ながら食べる。その後、仕事場に行き[朝顔の花](#)をBlosxomblogに入れる。5時過ぎて、カレーで早い夕食。食べ終わって、食器を洗おうと、先ず皮むきの道具を洗った瞬間、その刃で親指を切ってしまう。血が出てなかなか止まらない。沢山のティッシュを使って、ようやく止まって、薬をつけたが包帯が巻けないので、ソファで漫画を読んでいた草多に巻いて貰う。6時10分前に家を出て、代々木上原駅でカードで小田急からJRに乗り換える切符を買おうとしたら、カードが駄目になっていて、再発行して貰う。新宿でJR中央線に乗り換えて阿佐ヶ谷へ。ところが、東中野でわたしの乗っている車両から病人が出て一時停車。阿佐ヶ谷で下りて画廊「煌翔」での「映像アートサロン・煌翔」へ。まだほとんど客が来てなかった。ご主人が椅子を用意

Navigation

[Previous 月](#)
[Next 月](#)
[Today](#)
[Archives](#)
[Admin Area](#)

Categories

[All](#)
[General](#)

灰皿町の本

●[幻想小説『なめくじキーホルダー』清水鱗造](#)

●[「週刊読書人」詩時評一九九二-一九九三年 清水鱗造批評集 第二分冊](#)

Search

してくれた。40人程集まって、7時からかわなかさん・萩原さんの『映像書簡 2』の上映が始まる。その後、山本圭太君の『paper weight』と木村和代さんの『徒波に独り』が上映され、続いて萩原さんの『風は木を忘れる』が上映されて、休憩。その間にビールと食べ物が出る。わたしは元美術手帖編集長の篠田さんと話す。それから、かわなかさんの『酒場#2 ホワイト』が上映された。ホワイトの目を患ったママを励まそうと開かれてパーティを撮った作品で、ママを慕う山下洋輔さんや内田裕也さんたちの沢山のミュージシャンが次々に演奏し、歌う圧倒的な場面の連続によって、ママの人柄を描き出していた。多摩美の卒業生の歌原さんと、作品を上映した木村さんと、副手の山崎さんとちょっと立ち話して、10時半に、かわなかさん萩原さんにさよならをいって外に出て、中杉通りでタクシーを拾って帰宅。枝豆を茹でて、林檎、枝豆、煎餅1枚、サザエさんビスケット2個、牛乳。仕事場に下りて、mixiを見た後、「灰皿町blog日記」を書く。

01:16:57 - shirouyasu - No comments

2006-07-29

Final Cut Pro ver.5をeMacのMacintosh HDにインストールして、テスト。

28日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、脳の働き方が要約していろいろと書いてあった。決まった範囲のことしか受け入れない(可視光線)、独断的、変化に敏感(輪郭線や動き)、統合する、能動的、予測的、階層的(ニューロンの役割)などなど。ストレッチ体操、シャワー。今日は庭に咲いている花は紫陽花の花だけなので、それを撮ってBlosxomblogに入れる。Webを見たりして何となく過ぎて、2時過ぎに冷や麦を茹でて独り昼食。寝室のベッドに横になって、うとうとしながら、テレビの刑事物を見る。今年収入と支出が気になったので、仕事場に下りて、年金その他の予定収入と昨年の支出の額をExcelで表にして比較してみる。無駄遣いしなければ、とんとんに収まりそうな感じ。7時頃、久しぶりにトマトオムレツを作り、わかめと豆腐のみそ汁を作って、独り夕食。食べ終わったところに麻理が帰ってきた。仕事場に行って、吉本隆明さんの『<信>の構造3』を30数ページ読む。eMacで使えるかどうか試すために、Final Cut Pro ver.5をeMacのMacintosh HDにインストールし始める。その間に居間に行って、林檎、黒糖プレッツェル5本、一口羊羹1個、牛乳。仕事場に下りて、インストールを続ける。仕事場の奥のパソコンコーナーで探していた「Sound it」のインストールCDを見つける。FCPをインストールした後、見つけた「Sound it」をインストールする。それから、FCP5で『極私的な多摩王の感傷』のプロジェクトを起動して、タイムラインを走らせてモニターに出してみる。35分のうち2回駒落ちで停止した。ぎりぎりで使えるかなというところ。でも、やっぱりG5を買いたいという気がする。『極私的な多摩王の感傷』を見ていて、映像の多摩美上野毛キャンパスが遠退いて行く。卒制合宿で、学生たちの「芸祭」で歌う合唱の練習を撮ったのは、去年の今頃だった。テスト再生の後、「灰皿町blog日記」を書く。

01:22:12 - shirouyasu - No comments

2006-07-28

短い詩を二つ書く。

27日の朝、朝食前に朝顔の花を撮る。ストレッチ体操を終える頃にはもう萎れてしまうから、早く撮った。トイレで読んだ『美を脳から考える』は、第2章に入ってから、この章では「詩の韻律」と「脳」と「時間」の関係を考えると書いてあった。ストレッチ体操、シャワー。昨日のガス屋さんで車庫の引き戸の具合が悪いので、工事するかもと話したので、彼の同僚がその引き戸の具合を見に来る。仕事場へ。津ヶ谷伸子さんから一月前に送られてきた写真を再見する。麻理とつけ蕎麦で昼食。朝顔の花をBlosxomblogに入れる。短い詩を二つ書く。津ヶ谷伸子さんが撮って送ってきた写真の裏に番号を書いて、一枚一枚、番号順に短い感想を記した

Login

ログインID:

パスワード:

 このPCを他の人と共用する

ログイン

Powered by



手紙を書き、写真と共にポストに投函する。そのついでに、パルケに行って、トウモロコシと枝豆とブドウとハムなどを買って、帰る途中、薬局で歯ブラシと歯磨きを買った。帰って、トウモロコシと枝豆を茹でる。枝豆とトウモロコシを食べながら夕刊を見る。その後、仕事場に行って、eMacに「Soundtrack」をインストールする。麻理と久しぶりのステーキで夕食。食後、寝室のベッドで仮眠。9時過ぎに仕事場に下りて、吉本隆明さんの『<信>の構造3』を読む。居間に行って、林檎、トウモロコシ半分、枝豆少々、一口羊羹、煎餅、牛乳。また仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書く。

00:35:40 - shirouyasu - No comments

2006-07-27

詩を一つ書きあげる。

26日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、美の生物学的基礎のまめとして、先ず系統的適応ということで、円とか正方形とか左右相称とかという規則的なイメージに、また生得的なテンプレートにバイアスが掛かり、次に民族の統一を表すイメージに、更に知覚に対して刺激的なものや好奇心を満たすものにバイアスが掛かるということだった。ストレッチ体操、シャワー。久しぶりに晴れて、[日差しを一杯に受けたハイビスカス](#)を撮ってBlosxomblogに入れる。先日冷暖房機を設置してくれたガス屋さんが、家の外の水道管のカバーを交換しに来てくれるというので、早めの昼食。麻理と冷や麦。「Sound it」のインストール用のCDを探しているうちに時間が経つ。見つからない。それから、昨日のメモを元に詩の続きを書き、夕方、トウモロコシを食べ、また書き、焼き魚などで麻理と夕食。食後、眠くなって仮眠。10時頃仕事場に下りて、詩を書き上げる。それから、吉本隆明の『<信>の構造3』を読む。居間に行って林檎、枝豆、黒糖プレッツェル数本、一口羊羹一個、煎餅一枚、牛乳。仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書く。

01:36:08 - shirouyasu - No comments

2006-07-26

家の中用のめがねの縁を換える。

25日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、民族はそれぞれ統一心を強めるための歌を持っているということが書かれていて、砂漠の民族が自分の土地に帰った時に唱える土地を崇める歌が引用されていた。ストレッチ体操、シャワー。[朝顔の花](#)を撮ってBlosxomblogに入れる。残りのカレーを温めて食べようとしたら、ご飯がないので米を研いで炊いて、昼食。今使っているeMacのFinal Cut ProはVersion3なので、PowerBookG4のVersion5で編集したプロジェクトファイルを起動できないので、外付けのHDDにMacOS X Tigerをインストールして、それを起動して、そこにFCPのVersion5をインストールすることにする。しかし、OSをインストールした後、再起動で外付けのHDDから起動できなかった。3時過ぎに家を出て、富ヶ谷消防署に先日のぼやの被害を所定の届け書に書いて自転車を持って行く。そのまま、自転車で渋谷に行き、自転車を東急本店の前に置いて、auの営業所に行ってクレジットカードの番号が変わったのを届ける。変更には一ヶ月掛かるので、今月分の決済についてカード会社に問い合わせさせてくれ、といわれて、ちょっと言い争う。引き落とせなかったら、警告が来るだろうから、そこで処理すればいい、というのがわたしの言い分。一応、変更届は出した。それから、イフキ眼鏡店へ行って、家の中で掛けている方のめがねの縁が白く退化して、体操をすると落ちてしまう程ゆるゆるになったので、取り替える。レンズをはめるのに、削るから1時間半掛かると言われる。喫茶店のTopへ行って、昨日から書き始めた詩の内容のメモを書く。それが、天皇制に関わるところに動いていったので、Book1stに行って、吉本隆明著『<信>の構造3 天皇制・宗教論集成』と『歴史としての天皇制』と、それに『米軍が記録した日本空襲』という本を買う。6時過ぎたので、イ

ワキ眼鏡店へ行って縁を換えたためがねを受け取って、東急本店の地下でヒレカツを買って、そこに停めて置いた自転車で松濤の住宅街を抜けて帰宅。汗をかいてシャワーを浴びる。それから、わかめと豆腐のみそ汁を作って、ヒレカツで独りでテレビを見ながら夕食。テレビでは、破産宣告した夕張市のことが取り上げられていた。食後、寝室のベッドに横になって巨人対広島島の試合を見ながらうとうとする。9時のNHKニュースを半分見て仕事場に下りて、eMacを起動したら、外付けのHDDから起動したので、そこにFCPのVersion5をインストールする。インストール中に、吉本隆明の天皇制宗教論を読む。インストールが終わって、居間に行って林檎、黒糖プレッツェル数本、一口羊羹、煎餅1枚、牛乳。また、仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書く。

01:41:19 - shirouyasu - No comments

2006-07-25

「ダンスがみたい! 8」の「根岸由季」を見る。

24日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、詩の言葉が意識を規制するというようなこと書いてあって、国歌と神への忠誠を歌った「ナチス親衛隊」の歌が引用されていた。そこには家族への愛や忠誠は書かれていないとあった。[庭のヒメジョオン](#)の花をBlosxomblogに入れる。書庫の、まだ片づけが残っていた本やその他のものを片づける。途中で、カレーの残り、麻理と昼食。片づけ終わって、詩を一つ書き始める。6時に家を出て、地下鉄で表参道と九段下で乗り換えて、神楽坂下車。6時45分に着き、赤城神社入り口のそば屋でざるを食べて、降ってきた雨の中、「神楽坂die pratze」へ行く。7時5分前について7時開場、一番で入る。最前列に座る。くらい中で女の嗚咽が聞こえるところから始まる。二の腕を縄で縛られた女が床に仰向けに寝てもがく。立ち上がって奥の壁にへばりついて泣いたり笑ったりしてのダンス。その身体の動きに笑いが起こる。それから、右手の壁に蹲っていると、左から「ただいま」の声で背広の男が現れて、会社の賄いの老人が作る、輪ゴムとか貼り薬が入ったみそ汁の話などする。あと、化粧する女がボレロを踊る貴婦人になるとか、昆虫のようなダンスをする男が現れるとか、投げられたビスケットを口で受ける芸とか、男二人と女一人のダンスと芝居が混然となったパフォーマンスだった。補助席。座布団が出される入り。結構笑いがあった。終わった後のトークで、ダンサーの根岸由季と男のダンサーは伊藤キムのところにいるということだった。また、始め芝居をしていたがダンサーに変わったとも言っていた。働いている若い女性の鬱屈した気分を身体でぶっ飛ばすという話を作っていると感じた。9時半頃終わって、もと来た道を歩き、東西線、半蔵門線、千代田線で代々木上原で下りて、「おりじん弁当」でおにぎり2個買って帰宅。夕刊を見ながらおにぎりを食べる。それから、仕事場に下りて、足立さんからメールアドレスの設定が間違っていると指摘され、直す。そして、「灰皿町blog日記」を書く。

00:29:45 - shirouyasu - No comments

2006-07-24

送られてきた詩集を整理する。

23日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、詩の言葉にも、人間にはメタファーなど共通した意味のあり方があると書いてあった。「上」という方向が社会的な地位とか優勢とかという意味合いでは通じているというように、そこにもバイアスが掛かるということだ。庭に出て、[朝顔と猫](#)を撮って、Blosxomblogに入れる。blogのコメントを書くなど。家の玄関に入ったところの階段に積み上げられている送られてきた詩集や詩誌を整理する。知らない人の詩集は封を切って、詩を一つ読むという仕方です。半年分なので、時間が掛かった。4時過ぎに、整理が終わらないままに、カレーを作り、ご飯を炊いて、7時頃麻理と夕食。8時からNHK大河ドラマ「功名が辻」を見る。その後のNスペ「ワーキングプア」を見

た。働いても食べていくのがやっとという人たちが増えているということだ。社会情勢が変わっているのを感じる。9時半頃草多が帰宅して、10時頃野々歩が来て、麻理とわたしと息子たちと家族がそろったので、先日のぼやがあったことを踏まえ、麻理の提案で「家族の交流」と「家の中の整理」をテーマに「家族会議」を開く。まず、麻理流の「いいところ探しゲーム」をやって、互いに和んだところで、テーマに従ってそれぞれが案を紙に書き出して話し合った。その後、整理を続行。麻理が貰って来たメロンの空き箱に詩集を入れて積み上げた。林檎、小あんパン、トウモロコシの半かけ、一口羊羹、煎餅、牛乳。仕事場に行って、「灰皿町blog日記」を書く。

01:46:14 - shirouyasu - No comments

2006-07-23

「neofest 2006」でわたしが映画を作り始めた頃の話をする。

22日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、グループで行うダンスは集団の結束を強める働きがあると書かれていた。同じ身体の動を同時にやるのが結束を強める、というのは、朝礼とか行進とかにもいえるのかもしれない。自転車で、文教堂を覗いて、文房具屋でファックスのロールペーパーを買って、パルケで林檎、牛乳、にんじん、アスパラ、肉、天ぷらなどを買って来て、蕎麦を茹でて天ざるで昼食。朝顔の花をBlosxomblogに入れる。一昨日のぼやで書庫から出したままになっていた本を戻す。書棚の焼け方はひどくなかったが、棚板の裏側がすすで真っ黒になっていたので、焼けたの実感した。焼けた本はなかったが、つげ義春さんの本が一冊、背表紙が焦げていた。つげさんの全集や雑誌「ガロ」が無事だったので、まあ、ほっとした。腕などが黒く汚れたのでシャワーを浴びる。3時過ぎに家を出て、千代田線で新御茶ノ水下車。neoneo坐へ。4時から「neosest 2006」のRプログラム武蔵野美大・萩原翔作品「self portrait」、映画美学校・清水信貴作品「silent movie」、東京芸大大学院・渡辺裕子監督作品「危険な遠足」「惑星ブーケ」の4本を見た。不安が潜在しているという印象を持った。6時からEX6プログラムとして、わたしが初期の作品、天沢退二郎結婚記念作品「アマタイ語録」(1969)を上映して、映画を作り始めた頃の話をした。7時に終わって、交流会に参加した。この「neofest 2006」には大学や専門学校などの若い人たちの作品が155作品集まり、上映されるという。しかし、主催者の話では制作者たちは意外に上映に積極的でないという印象だったということ。確かに、作ることで満足してしまい、広く公開するという気持ちが薄く、同世代の他人の作品をあまり見ない人が多いようだ。わたしは、作品を作ってから作品について語り合う場を持つことが大切では、と話した。9時廻って散会。千代田線で帰宅。林檎、枝豆、一口羊羹、煎餅、牛乳。仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書く。

00:40:04 - shirouyasu - 2 comments

2006-07-22

かわなかさんの退職記念上映会「映画・日常の冒険」に行く。

21日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、ダンスもまた音楽と同じように知覚にバイアスが掛かるものがあるということが書いてあった。共通して、男の踊りは自分を大きく見せようとして、手を広げたり飛び跳ねたりする動きがあり、女は優美で、交渉関係を暗示するような前後に移動する動きがあるということだ。終わりが近い紫陽花の花をBlosxomblogに入れる。昨日、ぼやがあった漫画本が置いてある書庫をちょっと片づける。埃で汚れた身体をシャワーで洗い流す。12時半頃、蕎麦を茹でて昼食にする。1時過ぎに家を出て、代々木上原から小田急の町田でJR横浜線に乗り換えて、相原下車。大学のバスで東京造形大へ。「映画・日常の冒険」の上映会が行われている教室を探して行くと休憩中で、食堂に行ったら、かわなかさんたちに出会った。会場の4-E教室に戻って矢口史靖監督の8ミリ映

画「雨女」を見る。その後、かわなかさんの「Bふたたび」他5作品を見た。多摩美のほしのさんと木村さんも一緒に見た。二人はそこで帰り、わたしは残って、卒業生たちの作品を7本見た。終わったのは、10時を廻っていた。食事を取る機会を失ったので、飴を舐めて飢えをしのいだ。終わって、かわなかさんがタクシーを呼んで、霧降る造形大を後にして、JR八王子駅まで同乗する。JR中央線で国分寺までかわなかさんと一緒に、そこからわたしは中央特快に乗り換えて、新宿で下車。タクシーで帰宅。上原の商店街でタクシーを待たせておにぎりパンを買った。帰って、おにぎり、林檎、一口羊羹、牛乳。夕刊を見て、仕事場へ。メールの返事を書いてから、「灰皿町blog日記」を書く。

02:08:07 - shirouyasu - No comments

2006-07-21

またまた災難、書庫からぼやを出す。

20日の午後、冷暖房機の付け替え工事の人が来て、工事を始めた後、パソコンをやっているとき、午後3時前に漫画本が置いてある玄関脇の書庫から小さな爆発音が起こったので、行ってみると別にどうということないので、工事の人が出した音かと思い、パソコンに戻ったら、また爆発音したので行ってみると、書棚の前にぶら下がった電気のコードの前のボール紙が燃えていた。麻理に声を掛けて、そのボール紙を外に投げて、書庫の中を見ると電気のライトにつないだプラグとソケットが火を噴いて燃えていた。わたしは工作機のニッパーを持ってきてその燃えているコードを切った。麻理が外に出て「火事!」と叫んだので、前の家の奥さんが119番してくれた。その時点で、火は書棚の本をちょっと焦がしただけで消えていた。しかし、消防自動車来て、書庫の本を出して、点検して、プラグの他に出火したものがないのを確かめ、東電の人が来て他に漏電もないのを確かめてくれた。プラグの焼け具合から、工事のために普段あまり点けない電灯を点けていて、本の下になっていたプラグが押されて退化したコードをショートさせたらしいと考えられる。4時頃、わたしは家を出て多摩美へ。「ドキュメンタリー映画論」の授業の前期試験をして、石田ゼミの学生たちとナセヤでビールを飲んで話をし、石田さんを新代田まで送ってタクシーで帰宅。林檎、牛乳など。その後、漏電が心配になって、草多に冷蔵庫を動かして貰い、麻理と冷蔵庫の後ろのコンセントに溜まったゴミなどを取って、「灰皿町blog日記」を書く。

02:18:17 - shirouyasu - 6 comments

2006-07-20

渋谷シネマアンジェリカで小沢和史監督作品『僕は一日で駄目になる』を見る。

19日は、起きたのが遅かったので、朝食が12時頃になり、それから入ったトイレで読んだ『美を脳から考える』には、旋律のことで、軍歌、愛の歌、悲しみの歌の旋律はどの民族のものでも共通していて、言葉は分からなくてもその気分を聞き分けることが出来ると書いてあった。昨日、アニメ作品を発表した2年生の藤澤まどかさんから先輩のアニメ作品を見たいといわれたので、早速仕事場の奥で、わたしの手元にある映像演劇学科の卒業生たちのアニメ作品をDVDにする作業に取りかかる。最近、ここのデッキに触ってないので、失敗の連続。VHSからVHSへのダビングする際の、カウンター表示の消し方が分からず、VHSからminiDVにダビングして、それを1本のVHSにダビングして、それをDVDにするというやり方を考える。2001年度の1年の企画制作で制作されたドキュメンタリーアニメ『4°Cのライオン』、次に鈴木聡子さんのモーツァルトのピアノ曲に合わせた線画のアニメ、藤原長人君の蜜蝋を使って書いたアニメ『おみやげ』、平竹晋也君たちの髪の毛のアニメ『ポンチ危機一髪』、版画のアニメ『フランス人』その他、それから岩井天志君の独創的な人形アニメの作品『独身者の機械』を入れることにした。半分程やった

ところに野々歩が来て、自分たちのテープをDVDにダビングしたいということで、デッキを譲る。その間にジャガイモを茹でて、夕刊を見ながら食べた。[雨に濡れた朝顔](#)をBlosxomblogに入れる。7時半に野々歩も帰って、わたしも出かける。地下鉄で渋谷に出て、FoodShowで林檎とパンを買って、東急プラザの「松川」で鰻重。それから、「渋谷シネマアンジェリカ」へ行って、切符を買って並んで入る。多摩美の卒業生の三宅君、与那覇君、鈴木雅也君、鈴木余位君などの顔も見える。先ずライブイベントとして駄目男を自認する男の詩の朗読があって、小沢和史監督の『僕は一日で駄目になる』が上映された。実家に帰った駄目な芸術家がいろいろな珍事に遭遇するという話。続いて藤井徹監督作品『イッテ!』と高橋亨監督作品『極道忍法帖』が上映された。それぞれ30分程の作品で、まあ、3本立てで1000円ということだった。この上映は、「Short Film market 2006」という企画の一環として行われた。見終わって、卒業生たちに挨拶して、タクシーを拾って帰宅。林檎、ジャガイモ半分、角きんつば半分、煎餅、牛乳。仕事場に行って、ダビングの続きをやりながら、「灰皿町blog日記」を書く。

02:06:32 - shirouyasu - No comments

2006-07-19

多摩美映像演劇学科「FieldTrial前期発表会」2日目に行く。

18日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、主旋律の働きが書いてあった。会話の話す調子が心に働きかけるという。喜びは高く、悲しみは低く話されるという。ストレッチ体操、シャワー。頭をシャンプーする。庭のハイビスカスと朝顔を撮り、[ハイビスカスの方](#)をBlosxomblogに入れる。12時を過ぎて、急いでお茶漬けを食べて、1時に家を出る。地下鉄で表参道、二子玉で乗り換えて上野毛下車。2時からまず映像作品のFプログラムを見る。それから赤い壁、市松模様の床のレストランと見立てられた空間でのダンスショー「Smith's Special」を見る。ちょっと時間の合間があって、5時過ぎに食堂でオムライスを食べながら、昨日見た「ーメツゾmesoー」について、作者の大渡さんに話をする。それからコント的演劇「方向音痴よ彼方」を見る。巨大な烏賊の張りぼてがいかに。続いて歌の上演「ANNA」を見る。隣の教室での田村君と上田君のパフォーマンスを見てから、演劇スタジオでの公演「ムーミン谷の春!!」を見た。そして、講堂で行われた学生たちの「個人制作と共同制作について」という討論会を傍聴した。最後にはこの2日間に発表された作品の中から優秀作品「Smith's Special」が福島学科長から表彰され、「FieldTrial前期発表会」は終わった。この2日間、専任教員という立場を離れて学生たちの作品を見たわけだが、制作過程に関与してないので、それぞれの作品がちょっと遠く感じられた。終わって、石田さんとナセヤに行きビールを飲んで、何人かの学生が来て歓談。12時前に他の場所で飲んでいる学生が呼びに来て、石田さんはそちらに行き、わたしはタクシーで帰宅。林檎、トウモロコシ、角きんつば半分、煎餅、牛乳。夕刊を見て、仕事場へ行って、「灰皿町blog日記」を書く。

02:02:33 - shirouyasu - No comments

2006-07-18

多摩美映像演劇学科「FieldTrial前期発表会」に行く。

17日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、リズムのことが書いてあった。リズムは生理反応起こすという。魚も動物もメトロノームに反応する。呼吸を速めたり遅くしたりするという。Web検索で福土さんと森さんの項を引いて見る。Blosxomblogに[朝顔の花](#)を入れる。12時半頃、お茶漬けを食べて、1時には家を出て、地下鉄で二子玉乗り換え上野毛下車。2時15分からの松本旭史君たちの「曼荼羅」の上演を皮切りに、田村篤史君たちの「ぶっこヌキGoKo戦線」の上演を見て、それから食堂でハヤシライスを食べ、その後映像作品をB、E、

Dのプログラムで14本見た。最後に、今井甲介君の怪談話「音霊」を聞いた。終わって、訊ねてきた卒業生の佐々木文美さんと話をし、一緒に萩原さんと石田さんが行っている寿司屋の「日本海」に行った。後から2年生の上田剛君も来た。11時廻って、タクシーで萩原さん、石田さんを送って帰宅。林檎、一口羊羹、煎餅、牛乳。仕事場に行って、「灰皿町blog日記」を書く。

01:20:37 - shirouyasu - No comments

2006-07-17

「ダンスがみたい! 8」の「東北・芸能宣言」福士正一ソロ・他を見る。

16日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、個人が美的スタイルに力を入れるということが、その人となりを示して信用を得ることになるなどということが書いてあった。銀行の建物の装飾が信用の例としてあった。そしてその美的スタイルはよけいなものを削り落として、最終的にはサインになるということだが、会社がロゴマークを作るのがその例としてぴったりだと思える。仕事場を下りて、[ミントの花](#)をBlosxomblogに入れる。半月あまり書いてない「日録」を書いたが、6日分を書いて昼食。食後、眠くなって午睡。3時頃家を出て、小田急で新宿に出てJR山手線で上野へ。公園口から都美術館の「毎日書道展」を見に行く。先日兄のところにいった時、この「毎日書道展」に初めて入選したというので、それを見に行った。あらかじめ展示してある部屋を聞いていたのですぐに見つかる。「松影入窓泉聲帯月静」と書いてあった。兄のを見てからちょっと見て歩くが、わたしには読めない字が書かれた墨跡が無数に壁に掛けられていた。5時近く、また上野駅の公園口に戻って、JRで秋葉原乗り換えで飯田橋に出て、東西線で神楽坂下車。6時半からの「ダンスがみたい! 8」の「東北・芸能宣言」に行くには時間が早く、喫茶店で30分程時間をつぶしてから、惣菜屋の2階の「ブルディ」というレストランで和風ハンバーグとライスを食べ、神楽坂die pratzへ行く。着いたのが、6時5分過ぎ頃で、まだ客がそれほど来てなくて、最前列の席に座れた。6時半には満員。補助椅子が出される。客たちが挨拶しているので知り合いが多いと見る。先ず、福士正一のソロ。麦わら帽を被り、黒い紋付きの着物を着流して、腕と顔は白塗り。床に広げられた赤い布のまわりを回ってスローに踊り、布を拾い上げると、それが赤い長襦袢だった。それを被っての踊り。暗転して、赤い柄物のズロースとシャツの上に透明の薄い雨合羽を着て、這って現れて、舞台右に置かれた、うどん粉で作られた紙のような物のところで胎児を思わせる格好と、生まれた赤子を抱く仕草のような踊り。その後、ギター演奏の歌に合わせて激しい踊りになり、そのギター演奏者も現れて一緒に踊り、ギター演奏者を舞台の外に連れ出した後、再び踊って小さく座って、終わる。その後休憩があって、次に福士正一と森繁哉と阿部利勝の3人のダンス。昔の高校生風体の福士、壮年の男の阿部、頬被りした老婆の森、この3人が赤い箸をさした飯を盛った茶碗を持って踊り、更に食べる踊り。ダンスの後、ダンサー3人と作家の中沢けいを交えてのトークがあった。9時過ぎに終わって、地下鉄で神楽坂から九段下と表参道で乗り換えて帰宅。シャワー。林檎、角きんつば半分、煎餅、牛乳。テレビのスポーツニュースをちょっと見て仕事場へ。メールを見ていると、麻理から声が掛かり、録画した「功名が辻」を今見ないかというので、寝室でベッドに横になって見る。その後、また仕事場に戻って、明日の多摩美映像演劇学科の発表会「カーニバル」のプログラムの時間表を見て、見る順序を決める。それから、「灰皿町blog日記」を書く。

01:47:39 - shirouyasu - No comments

2006-07-16

「ぴあフィルムフェスティバル」のDプロの「ダイバーのリズム」を見る。

15日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、美的スタイルはバイアスとして民族的に働くばかりでなく、個人の存在にも及ぶことが書いてあったが、そ

れがどういうことだったか一日経った現在思い出せない。9時半頃家を出て、社会教育館前でタクシーを拾ってイメージフォーラム付属研究所へ行く。10時から奥山さん萩原さんと講評。12時半に終わって、一緒に近く華料理店でパーコー麺の昼食。その後、わたしは奥山さんに教えられて「表参道画廊」に、イメージフォーラム付属研究所の卒業生の浅羽昌二君の個展を見に行った。縦横20数センチで3メートルぐらいの長さの立方体の上に等間隔で24枚の発光ガラスが並んでいる。その先と同じ高さのところに20数センチの方形が吊されていて、それを揺らすと、その揺れにシンクロしてガラスに円が光り、前後に移動するという仕掛けの作品。円が現れて移動すると思わず感嘆の声を出してしまう。その仕掛けのことを聞いて時間を過ごす。イメージフォーラム付属研究所の同窓生の渡辺さんと鈴木さんが来ていた。画廊の隣の部屋では、奥村昭彦という人がピンホール写真を展示していた。外に出たら、画廊に入るとき降り始めた夕立は止んでいた。千代田線で家に帰って、シャワーを浴び、下着を替える。Blosxomblogに[庭の赤まんま](#)を撮って入れる。ちょっと仮眠。6時前に家を出て地下鉄で渋谷に行き、蓬莱亭で挽肉と椎茸を衣でくるんだカツの定食。クロスタワーの渋谷東急に行き、入り口のところで、ほしのあきらさんとちょっと言葉を交わす。野沢君の同級生たちと会う。「びあフィルムフェスティバル」のDプロの「グラウンド・ゼロ」と、多摩美の卒業生の野沢折臣君の監督作品「ダイバーのリズム」を見る。「ダイバーのリズム」に投票する。終わって、映像作家の吉田菜奈美さんと帰る方向が一緒になり、喫茶室ルノアールで話をして、銀座線の表参道で分かれる。帰宅して、林檎、きんつば半分、煎餅、牛乳。夕刊を見る。仕事場に行き、「灰皿町blog日記」を書く。

01:22:31 - shirouyasu - No comments

2006-07-15

「ダンスがみたい! 8」の「ダニエラノ正朔」を見る。

14日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、スタイルは同種族の結束を強めるというような働きをすると書かれていた。ブッシュマンの矢の飾りのスタイルがエンブレムのような働きをするという例が書いてあった。ストレッチ体操、シャワー。昨日外に出したハイビスカスが一度に三つも花を咲かせたのを撮った。しかし、これはBlosxomblogに入れ忘れて、日付が変わる2分前に入れた。自転車で銀行に行って来週取り付けに来る冷暖房機の代金をキャッシュディスプレイから引き出して、パルケに行ってパンと牛乳とアスパラなどを買ってくる。昨日、足立智美さんに貰ったDVDの彼が朗読しているところを見る。そのパソコンの音声と同じパソコンのマイクでそのまま録音してしまう。麻理と蕎麦の昼食。2時に家を出て、新宿小田急でお中元の佃煮を買って、JR総武線で亀戸へ。兄の家へ行き、お盆の飾りの仏壇を礼拝する。それから、兄と祖先のことを雑談する。鈴木家の過去帳の一番古い記録は「貞享3年3月」（1686）の女の人の戒名ということ。寿司をご馳走になって、5時半頃兄の家を出て、秋葉原へ行って、Podcastingで録音するためのマイクアンプを買う。マイクをその小さなアンプにつないで、eMacのラインイン入力差し込んでしまうことにする。JRで飯田橋に出て東西線に乗り換えて神楽坂で下車。時間が早すぎたので散歩するつもりで路地を巡っているうちに、道が分からなくなって、30分程歩いてようやく「神楽坂die pratz」の前の通りに出る。汗びっしょりになる。まだ受け付けてないというので、近くのコンビニに行って下着のシャツを買って、トイレを借りて着替える。「神楽坂die pratz」の入り口でコンビニで買ったアイス最中を食べる。一番で入場、前列に席を取る。7時半から、ダニエラさんの「Return to the Moon」。白塗りのほぼ1時間の舞踏。様々な豊かな表情でストーリーが読めるような展開だった。10分休憩があって、正朔さんの白塗りに襤褸風の衣装を付けての、やはり1時間ほどの舞踏。苦悩から浄化へと向かうストーリーが読めるような展開だった。身体で文学性を追求しているのかな、という感想を持った。東西線、半蔵門線、千代田線で帰宅。盗難に遭った場所では前後を注意して歩いた。シャワー。林檎、一口羊羹、煎餅、牛乳。夕刊を見て、仕事場へ行って、先ず、買って来たマイクアンプを使ってPodcastingの録音をして、アップ

する。それから、日付が変わるぎりぎりのところで、[ハイビスカスの花](#)をBlosxomblogにアップする。そして、「灰皿町blog日記」を書く。

01:23:53 - shirouyasu - No comments

足立智美さんの朗読にビックリ。

00:22:19 - shirouyasu - 2 comments

2006-07-14

足立智美の『口辺筋肉感覚説による抒情的作品』の朗読を聞く。

13日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、ギリシャ文化とか、ポップカルチャーとか、文化スタイルも知覚にバイアスを掛けるということが書かれていた。ストレッチ体操、シャワー。裸のまま庭に出て[雑草の幹に付けたストローのギブス](#)を写真にとってBlosxomblogに入れる。麻理とそばの昼食。テレビの「はぐれ刑事—純情派」を見ながらとうとう仮眠。「ドキュメンタリー映画論」のメモプリントの原稿を作って映像演劇学科の山崎さんにメールで送ったが、これはなぜか届かなかった。夕刊を見て、4時過ぎに家を出て地下鉄で二子玉で乗り換えて、4年の佐藤千穂さんと上野毛まで一緒に話ながら行って下車。さくら庵で雑焼き重。多摩美へ。6時から「玉野真一作品集」を見せて、「身体ということ」の話をする。映像にとって、人間は身体イメージになるということ。大劇場のスクリーンには、巨人たちが登場しているが、目にはそう見えているが、意識はそうは思わないということなど。玉野君の作品はそういう身体イメージからの脱出を試みていると思える、と話す。その後、4時限目は、石田さんのゼミで、足立智美さんから、足立さん自身が参加した「5th International KRIKRI Festival of Polipoetry Gent 2006」についての報告を聞き、足立さんの「音響詩」の朗読を聞いた。その中にわたしの『口辺筋肉感覚説による抒情的作品』が入っていた。自分が書いた詩とは思えない朗読だった。その後、わたしは書くとき音程とスピードは考えなかったのだが、それがプラスされると全く別物に聞こえると話した。授業後、ナセヤで、足立さん、石田さん、それに学生たちとビールなどで歓談。12時近く、タクシーで石田さんを新代田まで送って帰宅。林檎、角きんつば、煎餅、牛乳。仕事場に行って、足立さんから貰ったDVDで、彼の朗読もう一度聞いてから、「灰皿町blog日記」を書く。

01:46:31 - shirouyasu - No comments

2006-07-13

雑草の折れた幹にストローのギブスをはめる。

12日に朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、赤という色も注意を引くという点で系統発生的なバイアスが掛かっていると書いてあった。また、植物の図形の模様なども、生活ということから人類に共通したバイアスが掛かっているという。ストレッチ体操、シャワー。仕事場で昨日のダンスの開場で貰ってきた沢山のチラシを整理する。Webで岩淵貞太と舞踏批評家の乗越たかお氏を検索してみたりした。麻理とざる蕎麦で昼食。庭を眺めて、わたしが幹を折ったままにした雑草を見つけて、ストローをギブスにして補強する。[枯れた紫陽花の花](#)をBlosxomblogに入れる。それから、mp3のソフトをmixiの「赤帆」さんにお知られてやって見たが失敗した。ガス屋さんが来て冷暖房機を入れ替える話をする。トウモロコシを食べる。大相撲中継の最後の一番の朝青龍の見事な投げを見て、『ポッドキャスティング入門』を読み、ちょっと仮眠。焼き魚と冷や奴とみそ汁とその他の総菜で麻理と夕食。仕事場へ行って、『ポッドキャスティング入門』にあったいろいろなpodcastingのサイトを聞いてみる。Podcastingを録音する。居間に行って、林檎、角きんつば、煎餅、牛乳。また仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書き、Podcastingをアップする。

01:03:37 - shirouyasu - No comments

空梅雨の日。

00:59:25 - shirouyasu - No comments

2006-07-12

「ダンスがみたい! 8」の「岩淵貞太の『mint』と『double』」を見た。

11日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、壁の前にいると安心出来るとか、レストランの席は壁際から埋まっていくとか、知覚にはそういう自己保存のための系統発生的なバイアスが掛かるということが書いてあった。自転車で小林医院に行って、診察して貰い、常用の薬と荒れている上顎のためのうがい薬の処方箋を貰い、慶応堂薬局で処方して貰う。その間、文教堂で本を見て、「ポッドキャスト入門」と「Firefoxの改造テクニック!」を買う。家に帰って、データを全部失う決意をして、PowerBookG4のOSをリカヴァリーディスクで入れ替える。一度目はパスワードの設定で失敗して2度インストールする。ところが、インターネットに接続できない。一人でそばを茹でて昼食。[庭で風に揺れるヒメジョオン](#)を撮って、Blosxomblogに入れる。買ってきた「ポッドキャスト入門」に「Audacity」というMP3に変換するソフトがあると書いてあったので、これをダウンロードして試みる。ところが、1.2.0b版ではウィンドウの文字が出ない。これもだめかとかっかり。5時過ぎに家を出て、地下鉄で表参道で半蔵門線に乗り換え、青山一丁目で大江戸線に乗り換えて赤羽橋下車。「ダンスがみたい! 8」の岩淵貞太の『mint』と『double』を見るために、「麻布die prätze」へ行く。6時半過ぎたばかりだったので、まだ受け付けてなかった。近くのそば屋で親子丼。再び非常階段を上って「麻布die prätze」へ行く。先に待っていた女性がわたしが一番に来たのを認めてくれたので、一番で入場。通し券を買って直す。一番前の席で見た。岩淵貞太の『mint』は畦地亜耶加と二人で踊る。飛んだり跳ねたり、手を繊細に動かしたり、女の髪の毛を引っ張ったり、また二人で身体をぶつけ合ったりと、激しさと繊細さとがある踊りだった。『double』は開いた手に塗ってあった赤で顔を塗り、頭と上半身を激しく横に振り続け、途中で照明で身体の影響をイメージのように浮き立たせ、また横に振り続けるだけの15分間。終わった後、推薦者の舞踏批評家の乗越たかお氏とトークがあった。来た通りに大江戸線、半蔵門線、千代田線で帰宅。林檎、薩摩芋、一口羊羹、牛乳。夕刊を見る。仕事場に下りて、「Audacity」の1.3.0beta版をダウンロードして、mp3ファイルを何とか作り、Podcastingを復活させた。それから、「灰皿町blog日記」を書く。

01:42:18 - shirouyasu - No comments

mp3変換ソフトを見つけた。

常用していたPowerBookG4にTigerをインストールしたら、起動はするが動かなくなると、MP3に変換する「Cleaner6」が使えなくなっていた。代わり使うことにしたeMacのOSXはTigerで「Cleaner6」がインストールできなかった。どうもTigerはややこしい。

★iTunesのメニューバーの「詳細」の「Podcastを登録」に以下のURLを登録すると、iTunesで「Shirouyasu_Podcasting」を聞くことが出来ます。
<http://www.haizara.net/~shimirin/nuc/xml-rss2.php?blogid=5>

または、左ブロックの「Podcasting」の「Minami-hatoba1」をiTunesのウィンドウにドラッグして下さい。

00:36:02 - shirouyasu - No comments

2006-07-11

多摩美卒業生の中林舞さんと松岡由利子さんと食事して歓談する。

10日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、ニューギニアの女性が突然現れた調査隊の男たちに向かって、乳房を振り、乳を放出したという報告があり、乳房も威嚇したり慰撫したりする形態としてのバイアスが働くものとして書いてあった。髭もそういう魔除け的な意味合いを持つとも書いてあった。ストレッチ体操、シャワー。[ハイビスカスの花](#)を撮って、Blosxomblogに入れる。薦田さんに朝顔の花の礼状を書く。昨日の残りのカレーで麻理と昼食。午睡。目覚めて、大相撲中継をちょっと見る。MP3に変換するソフトをWebで探し、MacOSX10.4に対応している「Cleaner6.5」があると分かる。5時に家を出て、地下鉄で渋谷へ。ビッグカメラで音声変換ソフトを見る。Mac用は無かった。渋谷駅前交番前に行き、中林舞さんと落ち合う。そこに松岡由利子さんも来る。東急本店8階のレストランで3人で食事して歓談。わたしはポリガミー、モノガミーという言葉が久しぶりに口にして、選択の決意によって矜持を持つということの話した。それから日本の祭礼の話もした。そこを出て、中林さんの案内で宇田川町の「zarigani cafe」に行き、演劇の話をした。10時頃その店の前で別れ際、わたしが歩いて帰ると、「気を付けて」といわれ、NHK裏の辺りが物騒だという話を思い出して、先日のこともあり、タクシーを拾って帰宅した。野々歩からの盗難見舞いの電話で、PowerBook G4の故障のことで、OSの再インストールというやり方を教えられる。林檎、薩摩芋、一口羊羹、煎餅、牛乳。夕刊を見る。仕事場に行き、再インストールをやってみたが、変わらなかった。そこで、MacintoshHDの中身を消去してやり直そうかと思う。その後、「灰皿町blog日記」を書く。

01:02:41 - shirouyasu - No comments

2006-07-10

麻理と「FREECRUZ第32回公演『逢 (ai) 』」を見に行く。

9日は、目が覚めたら11時近かったので、朝食は昼食をかねて昨夜の残りの魚とみそ汁ですませる。トイレで読んだ『美を脳から考える』には、男根の形態が部族などを守るための攻撃のイメージとして働くということが書いてあった。[今朝咲いた朝顔の花](#)を撮って、Blosxomblogに入れる。12時過ぎに、麻理とタクシーで「新宿シアターブラッツ」に行き、「FREECRUZ第32回公演『逢 (ai) 』」を見る。麻理が行っているインプロのクラブのスタッフをしているHIROさんという人が出ているというので、またインプロってどういうものか興味もあったので、見に行ったというわけ。宇宙防衛隊が宇宙の塵を掃除して地球の安全を守るという活躍が大きな枠として決まっていて、舞台フロアに観客が言葉や単語を書いた小さな紙を散らばせて、5人の役者がそれを宇宙の塵として拾ってテーマを決めて即興的に場面を作っていくという展開。「爪」と書かれた紙から、「爪をかむ癖のある何々君に会いに行く」というようにストーリー展開して、台詞も紙を拾ってそこに書かれた言葉で作って述べる。思いがけない展開をする面白さをねらっている。役者にファンがいるらしく、うるさいくらいに笑っている女性の観客がいた。3時過ぎに終わって、御苑近くの生ジュース専門の店で「ブルーベリーバナナ」のジュースを飲みながら麻理にインプロのことをいろいろと聞いた。幾つかの即興演劇の方法が使われていて、言葉が書かれた紙を拾って演技を即興でやるのは「ペーパーズ」というのだそうだ。麻理のように教育にインプロを使うのとは別に、エンターテイメントとしてインプロを使うグループもかなりあるということだ。新宿駅まで歩いて小田急で帰宅。汗をかいてシャワーを浴びる。その後、昨日買ったカレーの食材でカレーを作る。大相撲をちょっと見てから、仕事場に行き、Podcasting用に音声をMP3に変換するためのソフト「Cleaner6」をインストールしようとしたら、インストーラーが途中で止まってフリーズしてしまう。Macminiでも試みたが同じだったので、MacOS X 10.4.7ではだめと諦める。音声をMP3に変換できないので、podcastingは当分お休みします。麻理は出かけたので、夕食は一人でカレーとアスパラとトマト。寝室に行き、ベッドに横になってNHK大河ドラマ「功名が辻」を見て、続けてNスベも見る。仕事場に行き朝顔を送ってくれた薦田さんに手紙を書き、「宛名職人」をインストールして宛名をプリントする。それから、居間で林

橋、薩摩芋、一口羊羹、煎餅、牛乳。また、仕事場に戻って「灰皿町blog日記」を書く。

02:18:23 - shirouyasu - No comments

2006-07-09

「RAFT meets DANCE! おどるのココロ!!! Vol1」を見に行く

8日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、目の形態に掛かるバイアスのことが書かれていた。魔よけの目の絵、船の舳先に描く目。また会話では聞く方は相手の目を見るが、話す方は適当に目を逸らしたりするのはそのバイアスのためだという。自転車で銀行に行きカードで現金を引き出す。パルケでカレーの食材、パン、林檎などを買って帰る。昨夜、犯人を追ってくれたタクシーの運転手さんに電話してお礼を言う。mixiにわたしの盗難の日記について沢山のコメントがあり、それに返事のコメントを書く。[2世代目のハイビスカスの花](#)を撮ってBlosxomblogに入れる。お茶漬を食べ、2時過ぎに家を出て、タクシーで中野一丁目の「らふとRAFT」へ行く。開場時間前なので近所を散歩。3時から「RAFT meets DANCE! おどるのココロ!!! Vol1」の公演。10名くらいの客の前で、先ずノシロナオさんの「I'm here/was there ~居場所を探すダンス」。意識を身体に集中して身体の文脈を探しているというダンス。気持ちがよい。10分の休憩を挟んで、朴井明子さんと黄色い勢力さんの「10の80乗個の粒子の揺らぎ」は三つのパートからなっていた。3メートルぐらいある布製の「骨」を抱いて踊ったりする「選択」、二人の青年が猛獣と草食動物に扮して、河原で猛獣が草食動物を襲い、そこに禿げた頭の鞆を持った背広姿のおじさんが数人やってきて猛獣に何かお願いするという映像作品『サバナナ』、鳥に扮した女性が、ボブ・マリーの歌で踊り、フロアのあちこちにたむろするという「求愛」。絵本の世界を大人が演じることに生まれる差、ある種の距離が新鮮な印象だった。5時過ぎの終わって、バスで新宿に出た。ヨドバシでMacG5を見て、HDDのケーブルを買い、小田急で財布と総菜の煮魚と漬け物を買って、タクシーで帰宅。夕刊を見てから、枝豆を茹で、みそ汁を作って、煮魚の総菜で一人で夕食。食後、仮眠。10時頃仕事場に下りて、mixiにコメントに返事を書き、居間に行って林檎、カステラ、煎餅を食べ、牛乳を飲んでから、また仕事場に戻って「灰皿町blog日記」を書く。

02:36:36 - shirouyasu - 2 comments

2006-07-08

夜、自宅近くで、後ろから付けてきた男に腰のポケットの財布を抜き盗られる。

7日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、頭が大きく身体が小さいという形態には、「可愛い」と思い、惹きつけられるバイアスが知覚に掛かるといことが書かれていた。ストレッチ体操、シャワー。石田さんから教えて貰ったNTT-ICCの「高橋悠治+茂木健一郎：公開トーク『他者の痛みを感じられるか』」を見ようと思ったら、使い始めたばかりのeMacにはWindows Media Playerが無かったので、それをインストールしてから見る。見る前に、麻理とそばで昼食。高橋悠治さんと茂木健一郎さんの本音のやりとりが面白い。高橋さんは茂木さんに痛みを与え続ける、そのことで自分が痛みを感じているのかという感じにもなった。薦田愛さんから[朝顔市の朝顔](#)が届いた。それを撮ってBlosxomblogに入れる。5時過ぎに家を出て、渋谷の平野屋で親子丼を急いで食べて、東横線で「みなとみらい」駅で下車して、横浜美術館へ。IFF 横浜でのLプロ「聖なる場所で」を見る。東京ですで見ているが、アピチャポン・ウィラーセタクルの作品『ワールドリー・デザイアーズ』をもう一度見るために行った。見終わって、地下鉄の駅構内の喫茶でメモを取る。電車の中で、紀伊国屋で取り寄せた総ページ28ページのアピチャポン・ウィラーセタクルについてのフランス語の小冊子を読む。往復の電車の中で読

み終えた。久しぶりのフランス語だったが、おおよそのところはつかめた。「フィクションと現実が絡み補うようなものの可能性に興味がある」とアピチャポンは言っているというが、その通りの作品だった。地下鉄の表参道の駅で一口カステラを買って、代々木上原の駅を降りて歩いて、自宅に行く曲がり角を曲がったところで、後ろから来た男にいきなり腰のポケットに入れていた財布を抜き盗られた。わたしは、「泥棒！、泥棒！」と叫んで追ったがどんどん逃げられた。ところが、前にタクシーが走っていて、男がタクシーの前を横切って道を曲がろうとしたら、タクシーが男の後を追って曲がっていった。わたしはそこまで追って行くと、男とタクシーはその先の曲がり道を警笛を鳴らしながら曲がって見えなくなった。わたしは走って息切れして、追うのをやめて戻ってくるとその小さな教会から人が出て来て話しかけてくれたので、逃げられたので、家で電話しますと言って、家の戻ってことに次第を麻理に告げて、110番した。麻理は自転車を出して男の後を追うと言って出ていった。わたしは、盗まれた財布に入っていたクレジットカードの会社に電話して止めて貰ってから、また現場に戻った。すでに警官が来ていて、状況の説明を求められた。犯人の服装など話したが、スニーカーを履いていたと思っていたのが、実は、サンダル履きで、タクシーに追われる時に道に脱ぎ捨てて裸足で逃げたとのことだった。タクシーの運転手さんも110番していて、わたしが行く前に警官にそのことを語っていたようだ。タクシーの運転手さんは、追ったが見失って、サンダルを脱いだのを見ていたので、そこに戻って来たら、犯人も戻って来て顔を合わせてまた逃げたと言うことだったらしい。それから、サンダルという犯人の遺留品があるということで、警察は警察犬を呼び寄せて捜索するということになった。わたしは、その捜査が始まる前に、刑事と覆面パトカーで代々木警察署に行き、被害届を出すことになった。警察ではおよそ1時間ぐらい掛かって刑事さんが被害届を書いてくれて、署名捺印した。被害は三万数千円と「ダンスがみたい8」の通し券14000円分、クレジットカード、それに財布そのものだった。そのころ、警察犬を使った捜査をしていた警官たちが帰って来て犯人に行き着けなかったということだった。わたしは被害届を出して、また刑事さんに車で自宅まで送ってもらった。12時半近かった。老人と侮られてやられたのが口惜しい。身につけていたものを盗られたなんて恥ずかしいです。帰って麻理に話して、シャワーを浴び、林檎、薩摩芋、カステラ、牛乳、そして夕刊と普段の生活に戻った。仕事場に下りて「灰皿町blog日記」を書く。

03:54:06 - shirouyasu - 7 comments

2006-07-07

PowerBookG4からHDにデータのコピーを終日続ける。

6日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、動物の種によって自分が捕らえられて食べられる敵のイメージに対しては、特に大きいバイアスが掛けられているということが書かれていた。朝食中から、なかなか起動しないPowerBookG4を起動して、外付けのHDにデータファイルをコピー始める。コピー時間が百数十時間などと表示されたりしたが、まあ、コピーするしかない。君子蘭の実を撮ってBlosxomblogに入れる。大平君から送られてきた「石出そば」を茹でて昼食。メールが送信サーバーにうまく繋がらず、右往左往している中に4時近くなる。15分程仮眠して、4時半前に家を出て地下鉄で、二子玉乗り換えで上野毛下車。幸楽飯店で餃子とチャーハン。多摩美へ。石田さんが来て、来週は足立知美さんが来てくれるという。楽しみが増えた。6時からの「ドキュメンタリー映画論」で矢後智之作品『無限の自由』を見せて、無謀だが、ここには若い人たちの思想の発芽が見られると話す。青山佳世君が訊ねてきて、現在作っているドキュメンタリー作品の話をしてくれた。9時10分に授業が終わって、石田さんとナセヤに行きビールで映像のことなどいろいろと話す。田邊さんと松本君が後から話に加わる。そして更に遅くなって木村さんが来た。12時廻って、木村さんと石田さんをタクシーで送って帰宅。先ず、仕掛けておいたコピーが終わっているか確かめて、また別のコピーを仕掛ける。水ようかん、薩摩芋、煎餅、牛乳。夕刊を見てから仕事場に行き、「灰

皿町blog日記」を書く。

02:47:22 - shirouyasu - No comments

2006-07-06

PowerBookG4が使えなくなる。

5日の朝、テレビで北朝鮮がミサイルを発射したニュースを見る。「純情きらり」「君の名は」「トクダネ」を見て起床、朝食後、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、人間の知覚は対称性、規則性、秩序を優先して感じ取るが、これは人間ばかりでなく、動物も同じだろ書いてあった。PowerBookG4が起動は出来るけど、アプリケーションの起動が遅く、終了も出来なくなって使えなくなった。そこで、多摩美の研究室で使っていたeMacを常用のマシンとして使うことにして、書斎の机の上に持ってきた。ところが、メールその他の設定が違うので設定し直しとなる。麻理とざる蕎麦で昼食。仕事場に降りて、多摩美生涯学習の講座の最後となる講義のメモを作り、メールでプリントを頼もうと送信しようとしたらcatnetの送信サーバーに接続できないので、Macminiから送る。受講生の人たちの詩を読む。5時頃、雨の中、家を出て地下鉄で二子玉乗り換えで上野毛下車。さくら庵で親子丼を食べて、駅前の喫茶店に行くと、受講生の相澤さんに会う。コーヒーを飲みながら、彼女がやっている「華道」の話をする。7時前に多摩美に行って、7時から講座「新しい詩の書き方を探そう」の最終回。「詩を発表する」というテーマで、同人誌や詩の雑誌や詩集出版のことを話し、受講生の人たちの詩を読む。9時に終わって、駅前の「やるき茶屋」で打ち上げ会。11時頃までビールなどで雑談をして散会。タクシーで帰宅。林檎、薩摩芋、煎餅、牛乳。夕刊を読む。仕事場に行つてメールをテストしたがうまくいかない。それから「灰皿町blog日記」を書く。

02:17:21 - shirouyasu - No comments

2006-07-05

PowerBookG4に**Tiger**をインストールしたらおかしくなる。

4日の朝は、朝食後、麻理が家の脇のベランダ上から道路に覆い被さるように伸びた蔓草を切りはじめたので、その作業を一緒にやる。蔓草を支えるような形になっていた木の枝をのこぎりで切る。その作業で汗びっしょりになる。シャワー。トイレで読んだ『美を脳から考える』には、20人の女性の顔の写真を重ねて合成した平均的な女の顔を、それを見た人たちが美しいと言ったということから、人は対象をカテゴリー化して、抽象する傾向があるということが書かれていた。spaceneoへ「8ミリ映画祭」のデータを送った。[花が復活してきたサフィニア](#)を撮って、Blosxomblogに入れる。そばを茹でて昼食。午睡。また、うとうとしながらテレビの「新・科捜研の女」を見てしまう。4時過ぎにガス屋さんが来て、冷房が効かなくなった冷暖房機を点検してくれる。フロンガスがなくなっているということ。ガス屋さんが帰った後、仕事場に行つてWebを見ると、灰皿町ネットのオーナーの清水鱗造さんが「灰皿ネット・ゲストブック」に「RSS」のことを書いていたので、SafariでRSSの設定をやってみたがどうもうまくいかない。webでいろいろ見ると、MacOSの10.4以降、つまりTigerでないと、SafariはRSSをサポートしてないらしいということが分かって、OSがTigerのMacminiでやってみると、見事にSafariでRSSリーダーとしてblogを見る事が出来た。丁度帰つて来た麻理とエッグハンバーグとみそ汁で夕食。テレビで地震のP波というのを感知して揺れが来る前に警報を出すことになるかと報じていた。仕事場に行つて、PowerBookG4にTigerをインストールする。インストールはすんなり行ったが、ユーザー登録で引っかかって、「少々時間が掛かります」といっても、虹の玉が回ったままで終わらない。マウスもキーボードも効かなくなって、遂に電源ボタンを押し続けて終了するという事になった。それから、mailを起動すれば読み込みに時間が掛かった末にフリーズする。Photoshopを起動して画像は開けたが終了できないで、またボタンで終了と

いったことで、遂に、PwerBookG4は使えなくなった。仕方ないので、林檎、水羊羹、薩摩芋を食べ、牛乳を飲んで一休みしてから、Macminiで「灰皿町blog日記」を書いたという次第。

01:57:03 - shirouyasu - No comments

2006-07-04

die pratzeの「ダンスがみたい!8」の「stray birds—迷鳥舞戯」を見る。

3日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、知覚は図形を円とか四角とかシンメトリーとか規則的に見る傾向があることが書かれていた。ストレッチ体操。シャワー。[ハイビスカスの花](#)を撮り、BloxomBlogに入れる。麻理とざる蕎麦で昼食。仮眠。うとうとしながら「新科捜研の女」を見る。夕立でちょっと雨。1年生の「ことば」の試験の答案を十数人分読む。居間に行って、茹でた馬鈴薯と蒸かした薩摩芋を食べ、珈琲を飲む。夕刊を見る。今日見に行く「stray birds—迷鳥舞戯」のダンサーの工藤丈輝のHPを見る。6時過ぎて、出掛けて地下鉄で表参道、九段下乗り換えで神楽坂下車。「神楽坂die pratze」へ行く。「ダンスがみたい!8」の通し券を買う。この夏はダンスを見て過ごそうと思う。映像演劇学科の非常勤講師の國吉和子さんに会う。マイケル・ペステル氏の鳥の声に似せたサウンドに、工藤丈輝氏がダンスする「stray birds—迷鳥舞戯」。約50分の上演。工藤丈輝は汗びっしょりで、上半身裸になる。続いて二人のトークがあった。9時頃終わって、神楽坂から地下鉄に乗って、大手町まで行って千代田線に乗り換えて代々木上原下車。久し振りに大手町の長い地下通路を歩いた。帰宅してシャワー。夕食を食べなかったので、お茶漬けを食べる。仕事場に行って、今日貰ったチラシを整理してから、「灰皿町blog日記」を書き始め、途中で、居間に行って、林檎、大福、煎餅、牛乳。また戻って、書き終える。

00:32:38 - shirouyasu - No comments

2006-07-03

三宅流君の映像作品『面打ち』を見て、その後石原康臣君と野村東可さんの結婚パーティに行く。

2日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える 芸術への生物学的基礎』には、先ず生物学的基礎ということで、知覚にはバイアスが働く、つまり「かたより」があるということが書いてあった。有名な「ルビンの杯と二人の顔」の図が杯に見えたり顔に見えたりするということが片方にバイアスが掛かるためだという。[久し振りに咲いたカーネーションの花](#)をBloxomBlogに入れる。南瓜の煮付けで昼食。1時半頃家を出て、坂の下でタクシーを拾って、澁谷の「UPLINK」へ。2時半から三宅流君の能の面打ちのドキュメンタリー映画『面打』を見る。その後、その面を使ったパフォーマンスを見た後、多摩美の卒業生の与那覇君と話す。5時半過ぎて、タクシーで六本木の「T&G ARTS」での石原康臣君と野村東可さんの結婚披露パーティへ行く。二人の同窓生や石原君の教え子たちがかなり沢山集まった。わたしの知った顔は萩原朔美さんと映像演劇学科の卒業生たちだった。挨拶の言葉やギター演奏、それに前衛舞踏があった後、出席者の名前のビンゴがあって8時過ぎに終わった。わたしは、野上さん、中林さん、増田さん、大道寺さん、平竹君、富貴塚君、山本君、浜田さん、高橋愛さん、内田さんと近くのイタメシ屋へ行って、同じテーブルでビールでパスタやピザなどを食べて雑談した。10時頃タクシーで帰宅。もう始まっていたBSでの「功名が辻」を半分見る。居間で、大福、薩摩芋、煎餅、牛乳。仕事場を下りて、podcastをアップした。テーマ音楽を入れないでアップしてしまい、やり直す。それから、「灰皿町blog日記」を書く。

01:29:55 - shirouyasu - No comments

志郎康podcasting第4回 多摩美映像演劇学科の卒業生たちと会う。

00:40:44 - shirouyasu - No comments

2006-07-02

イメージフォーラム附属映像研究所の講評の後、映画『バッシング』を見る。

7月1日の朝、トイレでインゴ・レンチュラー、バーバラ・ヘルツバーガー、デイヴィッド・エプスタイン編、野口薫他鑑訳『美を脳から考える 芸術への生物学的基礎』を読み始めた。序文に美を考える者が哲学者から科学者になったということが書かれていた。つまり、美が哲学的問題から生物学的問題になったということ。9時15分頃家を出て地下鉄で表参道で降りて、青山通りを歩いてイメージフォーラム附属映像研究所へ。10時半廻ってかわなかさんと講評を始める。12時半廻って終わり、1時過ぎからイメージフォーラムの劇場で小林政広監督作品『バッシング』を見た。イラクで日本人の女性が人質になって帰国したという事件をモデルにした作品。映画の最初に現実の団体や人物と関係ないという言葉が出てくる。一人の女性が勤めを首になり、街で虐められ、電話で非難され、恋人に捨てられ、父親が職を失い自殺し、その保険金の一部でまた渡航するまでが描かれていた。彼女が考えていることの展開が無いのがわたしには不満だった。3時頃、近くの蕎麦屋でざる蕎麦を食べる。オフィスデポで婚礼の祝い袋を買って、FoodShowでヒレカツ2枚買い、地下鉄で代々木上原で下車して帰宅。シャワーで汗を流す。[庭の枯れてきた紫陽花の花](#)を撮る。それから、南瓜を煮て、ご飯を炊く。蒸しパン一個食べて、珈琲を飲みながら夕刊を見る。紫陽花をBlosxomBlogに入れる。麻理がみそ汁と作って夕食。仮眠。NHKのドラマを見る。仕事場に行って、[PoemWikiに新しく作られた「灰皿ラジオ」](#)の鱗造さんが作ってくれたバナーを入れ替える。そのバナーの画像をiTunesのウィンドウにドラッグして重ねると、iTunesのPodcastに登録されて聞くことができる。それから、居間に行って林檎、薩摩芋、一口羊羹、煎餅、牛乳。サッカーのイングランド対ポルトガル戦をちょっと見る。また仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書く

01:48:08 - shirouyasu - No comments

2006-07-01

川口晴美さんと会って、彼女の詩集『やわらかい檻』を巡って話す。

30日の朝、『言語の脳科学』を読み終わった。「あとがき」に、脳の働きとしての言語を研究するためには文系と理系の溝を越えて「人間の科学」として研究していくことの必要性が説かれていた。ちなみにこの本の著者の酒井邦嘉氏は東大の理学系の大学院を卒業した理学博士で、MITの言語・哲学科の訪問研究員だった人だ。ストレッチ体操、シャワー。庭のねこじゃらしの穂を撮る。仕事場に行ってmixiを見る。麻理が出掛けるというので早めの昼食はざる蕎麦。津ヶ谷さんから送られて来た枝豆。それから、BlosxomBlogに[ねこじゃらしの穂](#)を入れる。ちょっと仮眠。2時半頃家を出て、小田急で下北沢乗り換えで明大前下車。駅の辺りをちょっと歩いて、3時に改札前で川口晴美さんと落ち合って、川口さんの案内で「Book Cafe」へ。そこで5時半過ぎまで『やわらかい檻』を巡って、川口さんが小学生の時に、最初に詩を書いた時からの話などをして、「やわらかい檻」という身体的な肉親関係の中の存在をテーマにしたこの詩集のキーワードになっている「泣く」「眠る」の言葉についていろいろと話す。5時半過ぎて、ガードを潜って行ったところのイタメシ屋で一緒に、ワインを一杯飲んで、前菜とパスタとピザの夕食。7時半頃まで詩集の話。4時間半ぐらいろいろと話した。わたしにとって詩集の存在感ははっきりとした。まあ、「読詩アクション」としては成功といえる。食事代は川口さんが払って御馳走してくれた。8時前明大前で別れて、井の頭線で下北沢で下車して、家まで歩いた。東北沢辺りはマンションが出来たりして路地の様子が変わっていた。帰宅してシャワーを浴びて、ベッドで仮眠。居間に行って夕刊を見る。仕事場に行って、podcastingの録音。居間で林檎、桃、薩摩芋、牛乳。また仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書く。

00:25:07 - shirouyasu - 1 comment

志郎康**podcasting**第3回目 川口晴美さんの『やわらかい檻』について

00:11:12 - shirouyasu - No comments